

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[管理型](平成 28年 6月度)

対象期間：平成 28年 6月 1日 ~ 平成 28年 6月 30日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の2ハイ、規12条の7の5七イ]

種類	数量(単位)	
燃え殻	2,126.66	(トン/月)
汚泥	5,472.42	(トン/月)
廃プラスチック類		(トン/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	260.31	(トン/月)
鉱さい	315.65	(トン/月)
がれき類	68.54	(トン/月)
ばいじん	818.70	(トン/月)
13号廃棄物	414.10	(トン/月)
汚染残土		(トン/月)
混合廃棄物	476.69	(トン/月)
その他(燃え殻)		(m3/月)
その他(汚泥)		(m3/月)
その他(ガラス陶磁器屑)	10.00	(m3/月)
その他(廃プラスチック類)		(m3/月)
その他(煤塵)		(m3/月)
その他(瓦礫類)	2.00	(m3/月)
その他(廃石綿等)	462.00	(m3/月)
廃プラスチック類(石綿含有)	4.00	(m3/月)
ガラス陶磁器屑(石綿含有)	23.00	(m3/月)
がれき類(石綿含有)	70.00	(m3/月)

水質検査の実施状況と措置(年1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビホ]

	地下水等		放流水
	平成28年3月8日	平成28年3月8日	平成28年3月8日
採取日	平成28年3月8日	平成28年3月8日	平成28年3月8日
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
検査結果が得られた日	平成28年4月1日	平成28年4月1日	平成28年4月1日
検査項目	ダイオキシン	ダイオキシン	ダイオキシン
検査結果	0.067 (pg-TEQ/l)	0.081 (pg-TEQ/l)	0.00022 (pg-TEQ/l)
異状の有無	有・ 無	有・ 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容	/		

※1 処分場の平面図に位置を明示すること。

*この書式は(社)全国産業廃棄物連合会最終処分会作成を元に作成。

水質検査の実施状況と措置(月1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビホ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	6月7日	6月7日	6月7日
検査結果が得られた日	6月16日	6月16日	6月16日
電気伝導率	7.75 (25°C mS/m)	15.60 (25°C mS/m)	
塩化物イオン濃度	8.7 (mg/l)	3.10 (mg/l)	
水素イオン濃度			7.7 (20.8°C)
生物学的酸素要求量			0.9 (mg/l)
化学的酸素要求量			12 (mg/l)
浮遊物質			<1 (mg/l)
窒素含有量			3.7 (mg/l)
異状の有無	無	無	
必要な措置を講じた日付とその内容	/		

施設の点検[規12条の7の2ハロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規12条の7の5七ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理施設
	平成28年6月30日	平成28年6月30日	平成28年6月30日	平成28年6月30日
点検日	平成28年6月30日	平成28年6月30日	平成28年6月30日	平成28年6月30日
異状の有無	無	無	無	無
必要な措置を講じた年月日とその内容	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
必要な措置を講じた年月日とその内容	/			

※「防凍のための措置」：当該処分場の導水管等は、凍結損壊のおそれのある部分はありません。

残余容量

測定年月日	平成28年 3月31日
測定結果	551,184m3